1日駅長の藤井沖君（左）常恒静華さん（右）

カルミヤの会の歓迎

秋のSL列車あぶくま高原を疾走

　秋の「SLあぶくま号」が、小野町の加入する田村地方町村会（博多祐輔会長）などが中心となり10月16・17日運行されました。

　JR小野新町駅で、大正琴の愛好団体カルミヤの会（上野豊子会長）や、小野中学校3年藤井沖君・常恒静華さんらが歓迎セレモニーを行いました。

　紅葉には少し早いあぶくま路でしたが、乗客はまたとないSL列車の旅を満喫していました。

幼稚園だより

汽笛をならし　出発進行!!

小野わかば幼稚園

　SL試乗の日、幼稚園の子供達は胸をワクワクさせて園を出発しました。見た事はあっても乗るのは初めて、みんな話も弾みます。

　ホームで待っていると「ボーッ！」という汽笛と共に、大きな黒い車体のＳＬが近づいて来ました。子供達は思わず「ワァー」と歓声をあげ、身を乗り出して見ていました。間近に見るその大きさと迫力にみんな興奮気味です。ＳＬの前で記念撮影をして、いよいよ列車の中へ。座席も窓もレトロな作りで、一時代昔へタイムスリップしたような感じです。

　川前駅までの約二十分間、トンネルを数えたり、車窓から見える周囲の山々や田んぼの風景に感動したりしていました。見慣れた景色もＳＬの窓からだと一味違って見えたようです。

　降りてからも、石炭や水の補給の様子を見る事が出来、動く仕組みにも関心が持てました。

　何でも高速化されつつある現代ですが、ＳＬの中だけはゆったりと時間が流れているようで、子供達もどこかホッとするひとときが過ごせたようです。